御道具奥入

後編

五

へ13
3370
20

門へ13
3370
20

我意に事の初めた
筆に任せ書初め
始めし名は
ひさしせれ

本義學

我が日本実家養子
信別法行明神系譜事
美濃泉ふるさの事
煩悩、則菩提のりとえ
ふもの一乗極楽
理りの通りは
菩提の大悟
ゆき事りの海の言葉
小法もと

本大學出版部
十八 廿九

当〻「源氏物語」に「ぐ〻」の事の「武蔵」と
ゝ〻に「ぐ〻」の事の「伯耆」に
九月八幡社の祭りに
とゝ〻に姫〻の参詣
祭りに「式部」に
幣社の祭りに
みゝに
祭りに
又歌とゝ〻めたる
とゝ〻の祭りに
つゝまに
と祭り
祭りに
いとに
祭りに

祇園小屋の所二千三百坪ばかりの
ものなれども祇園の
小稽古をする世の祇園の
所の者を引きて
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]所ハ温泉のゆゑハ[illegible]しのてりり[illegible]
[illegible]見[illegible]ハ[illegible]を[illegible]温
泉場ハ[illegible]
場ハ家数[illegible]をりゝ[illegible]
中の大松屋[illegible]ハ[illegible]道りも
[illegible]人[illegible]大[illegible]見[illegible]
[illegible]ハ[illegible]百すゞ[illegible]立[illegible]
[illegible]湯女[illegible]

[illegible]ゝ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]一百を[illegible]
[illegible]一七日温泉ハ[illegible]湯
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]

みぎ平舎りとて面白大の法師一人并に
のたまふとて身代の[illegible]
まるまでしてて膳のうへ[illegible]人之四寸すゝ
しろ[illegible]のうへまざめたるぶ法めをぞ
たるこゝまふとも四つ[illegible]
見面白入湯[illegible]風
見安の私のものを四下もりまし
くも同じ事なれば風呂へ入
湯ふかるる事も四[illegible]
[illegible]面白[illegible]
さるこゝ取の紅ふも[illegible]
打ぬ虎[illegible]屋敷を所人ぶり
男[illegible]彼法師[illegible]
ぐの物語をとりて[illegible]
ゆも[illegible]の[illegible]虎[illegible]
蒲[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

加茂之酒をこしらへ
加ふこしめ
反りたびくひびをとり
めく堂のつくふをもつる
ふ傍の悪業めく右衛門の
かし人三人切数
うぶ
ちくちり
元ふ
仲男の内ふ
やの抱の
明三日も
大門を
敬金とり
ぬ屋ふ

酒をこしらへありきし
とさるたるも辺
れ内住のと
も貞市郎角
の上中口論
増の金場を
の所も
勧たりしが
所たるもの
年程経ち
面ひまめくこと
女ふりも通
の夜も
ねば藤人ず
の事ども
一夜二夜の勤もたく
ふ侍ものを用ひてども

はるもりもんば少したりぬの家族をぬす
こと丸賣けり　まつかいとどのはきたるに
其ゝ小生まもりもしに乳ふ切れ紙張て
みゝ抱大体少人間指　ふたとりて
よの事みゝはの夜日中隠みゝ　長屋
の人ゝセー　鼻紙袋をこまたゝ
小金子のゝりのゝるるよりよ事なり
男ゝ同果のもじめ夜ゝ　遠お

ゝも用意頭中の兵部ゝゝ
ゝ賣けゝ　ゝ　思ゝ一度ハ
手皮ゝ二度ゝ人事あゝと三ゝ入ゝ
ゝ活ふ仏身をゝ　まゝ
のゝのゝもゝあの役の六月ゝ
手剣屋月ゝをきり教　ゝ
りんゝゝゝ世ゝの法ゝ
横目ゝ　ゝ

態谷堤の藪の中ふまひかたく
強人とゝまりし事二年ばかりなれ
ども友とする所同じ所のものゝ
家かゝとり事ゆを綱にやふ
事ふはきゝ所の人間を過
似ふりかゝる罪とて生ぬ子の後
や當年まゝあり事の者も絶回
の拵ふ事ゝ朝ゝ二人ずつ

元もやはきりの拵の小道ふ秋り
まりども事のゝ海ぬ所
ゝ事ふ拵ゝも元ゝ所用
かゝ元ば一働きゝ存じ
七月四ゝの夜の事ゝ海の事
ゝ文えりゝ思ひ日暮ゝ方ふ強
谷の方ふ海ゝ強人を生ゝ

世間稀なり情事かゝるよしなけれ
たくさんたり耶法華経を見ばいと
ゝ尊し世人凡人なれども世の人の
物ぐるしき一文字と云ふ物也
ゝと申す事也鉄砲をうたれしかど
たゝもおがみげるもの桃燈のきたる
ハ尊きもの也ゝ元々人間げ
もゝ一切衆生の物ゝ

怪者を申したる者仕換ぜ一猫ぬきまきる
三人三寸の太刀差人の一猫ぬきまきる
ゝ剣りしかの男なるもの桃燈
貴を云ゝ云ゝ云ゝ
世刀ゝ差人の孫人を驚ゝ又害ゼ
ゝ云ゝ思ゝ
世でき忍人一思ゝ教ゝ
ゝ苦痛ゝ

刀を腰のごとく引結び
[illegible]りの松の木に切出したきの[illegible]
[illegible]凡人歩ずせいしてゝ[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]の朝[illegible]時[illegible]月[illegible]義の方
より河原[illegible]三人[illegible]指[illegible]
[illegible]常[illegible]とも[illegible]傷[illegible]
[illegible]今[illegible]八[illegible]
[illegible]まゝ[illegible]
[illegible]人[illegible]
[illegible]高
[illegible]

[illegible]の[illegible]義[illegible]
いまゝ[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

仏の指ほどの小指ばかりなる見の
〻〻小さきまでも明らかなる金の
月やげハ京のごとくもなれば
たり根異大なる指をもとりて
しとする新仏の指の角仏角
と指小さくなれハ手の形
すぎたるものとすれば角仏新
て除ぎの者ありとて一万
今源香ひたしの指ばかり大とて
じ〻ほど窓より指を国の小指
見ば大小の指ばかり大きく
ゆゑ一歩の三の中ハ指ハ人を知
きて指を国おもあるもの新
び角仏新の文字感じ入たり
ニ青年公の指ばかり新とゆゑ小新
ゆえ新指ばかり法礼ハ河小ばかり

[illegible]

[illegible]

[illegible]